

## トラフグの最盛期！

西有家町漁協では、有明海で獲れた大量の「トラフグ」が水揚げされました。この日は、3～4kgのトラフグが多く漁獲されていました。

トラフグは3～6月にかけて水温が上昇すると同時に産卵します。小魚や甲殻類、貝類などを食べて成長し、特に餌として貝を好んで食べるため体に毒を持ちとされています。毒を持つため、業務として調理するには免許が必要になります。

トラフグの歯は鋭く咬む力が強いので、漁獲したらすぐに歯を折る作業をします。これは、生け簀の中でトラフグ同士が喧嘩し傷つくのを防ぐために行います。

＊南島原市では、「がんば」の愛称で知られています。



水揚げされたトラフグ

